

インドネシア:首都移転が閣議決定

イーストスプリング・アジア・ナウ

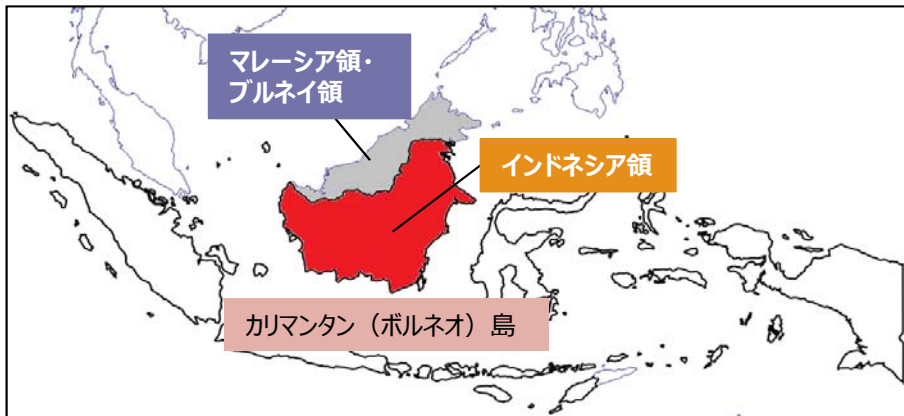
Vol.57

eastspring
investments

移転先はジャワ島以外に—カリマンタン島が有力視

ジョコ大統領が首都移転を決定

- ▶ インドネシアで、首都をジャカルタから移転することが4月29日に閣議決定されました。2020年にかけて移転に関連する行政手続きを行い、2024年を目途に第1段階の移転を進める予定です。
- ▶ インドネシアでは、初代大統領のスカルノ氏が1957年に首都移転を検討課題に挙げてから、過去何回も議論されてきました。その背景には、インドネシアの抱える問題があります。
- ▶ 現在の首都ジャカルタの人口は1千万人以上、首都圏全体では3千万人にも及びます。さらに、ジャカルタのあるジャワ島にはインドネシアの約2.7億人の人口の約60%が集中し、深刻な過密状態にあるとされています。首都機能を移転することで、人口集中を緩和させる狙いがあります。
- ▶ また、ジャワ島以外の地域の経済発展を促すという狙いもあります。首都ジャカルタは、今年インドネシア初となるMRTが開通する等開発が進んでいますが、インドネシアに1万以上ある島の中には、開発が遅れている地域もあります。今回の首都移転で、地方開発を促進することで国全体の開発を進め、経済成長を加速させたい考えです。



カリマンタン島に生息するオランウータン。カリマンタン島では、船でジャングルの中の川を進みながら、野生動物を観察するリバークルーズが人気。



(写真/アセアンセンター)

新首都候補のカリマンタン島とは

- ▶ ジョコ大統領やバンバン国家開発企画庁長官は「カリマンタン島に行政機能の移転を想定している」としており、5月にはジョコ大統領が現地視察を行いました。
- ▶ カリマンタン島は日本では「ボルネオ島」の名前で知られています。面積は日本の国土の約1.9倍で、世界で3番目に大きな島です。北部はマレーシアとブルネイ領で、南部がインドネシア領となっています。インドネシア領には、200を超える民族が暮らしていると言われています。
- ▶ カリマンタン島には広大な熱帯雨林が広がり、多様な動物が生息しています。また、周辺の海にも無数の海洋生物が集まり、ダイビングスポットとして人気です。一方で、鉱物資源が豊富で世界有数の石油産地でもあります。東カリマンタン州のバリクパパンは石油生産地として知られ、大型石油コンビナートのあるインドネシアの一大工業都市です。
- ▶ カリマンタン島の都市の中で首都移転先として有力視されているのが、パラカラヤです。中部カリマンタン州の州都で、スカルノ初代大統領により建設され、将来的に首都機能を移転することが計画されていたと言われており、インドネシアを象徴する建物が多く建てられています。内陸部に位置するため、洪水等の自然災害が比較的に少ないことや、豊富な天然資源に恵まれていることも首都移転先としての魅力の一つとなっています。
- ▶ 首都移転は、2期目を迎えるジョコ大統領にとって重要政策となると考えられます。移転先は早ければ今年中に発表される予定です。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ